

変革の 煽動者

佐々木耕成 アーカイブ
Sasaki Kosei Archive : 1928>2018

2018年4月、群馬県で一人の画家が息をひきとりました。彼の名は佐々木耕成。1928年に菊池郡泗水村(現・菊池市泗水)に生まれ、1960年代の東京で前衛美術グループ〈ジャックの会〉の実質的リーダーとして活躍した人物です。熊本では1963年に「郷土出身 佐々木耕成個展」が開催されましたが、以後彼が郷里で活動することはありませんでした。1967年の渡米以来、佐々木の名は長い間不明とされていました。しかし、2000年代初頭には、彼が群馬に居を構え、制作活動を再開していることが明らかになります。

1960年代の彼が目指したのは、「美術の変革」。前衛美術を社会に根付かせるために、〈ジャックの会〉は作品を「商品」として販売し、人々に芸術家のイメージを定着させるべく、街頭でのパフォーマンスを試みます。そして佐々木は、企画そのものを「アート」として位置づけ、周囲を煽動する役割を担っていったのです。

本展は、知られざる熊本出身画家・佐々木耕成をご紹介します55年ぶりの郷里個展です。ただし、1960年代の佐々木作品はほとんど現存しません。当時の作品は保存を前提としないインスタレーションやパフォーマンス、あるいは企画が中心であり、絵画作品も彼自身の手で廃棄されたからです。そのため本展では、画家や関係者から提供を受けた膨大な記録写真や〈ジャックの会〉に関係する資料、そして2000年代初頭から制作された近作・最新作を通して、佐々木耕成の軌跡をたどります。

関連イベント

ミュージアムセミナー

○前衛美術とアニメーション+

「宇宙パトロール・ホッパ」第1話上映会

日時:10月20日(土)14:00~15:00

講師:林田龍太(当館学芸員)

発売元:株式会社ベストフィールド

販売元:TCエンタテインメント株式会社



子ども美術館

○「気になる素材で作ってみよう！」

日時:10月21日(日)10:30~12:00

会場:本館文化交流室

※参加費無料(材料持参・保護者は要観覧料)、事前申込不要(当日受付40名)

※詳しくは9月頃に当館HPでお知らせします。

学芸員によるギャラリートーク

会期中の毎月第二・第四日曜日の14時から、当館学芸員が展示作品について30分程度解説いたします。開始時間前に2階会場入口までお越し下さい。なお、ギャラリートークのご参加には観覧料が必要となりますので、ご注意ください。詳細は当館HPをご覧ください。

実施日:10月14日、10月28日、11月11日、11月25日、12月9日

おしゃべり鑑賞タイム

正午からの2時間を「話しながら鑑賞してもよい」時間帯とするものです。ご家族やお友達とお話ししながら鑑賞を楽しめます。

日時:10月21日(日)12:00~14:00

同時開催

漫画界のレジェンド 松本零士展

10月27日(土)~12月24日(月・祝) 本館1階展示室



- 1 佐々木耕成による壁画 (2018年撮影)
- 2 「佐々木耕成個展 PERFECT」会場風景 1965年 [写真提供:佐々木耕成]
- 3 前橋でのパフォーマンス, 1966年 [写真提供:佐々木耕成]
- 4 佐々木耕成《作品#9》2007年 個人蔵
- 5 佐々木耕成《題名不詳》2003年 個人蔵
- 6 「郷土出身 佐々木耕成個展」会場風景 1963年 [写真提供:佐々木耕成]
- 7 佐々木耕成《おもちゃ設計No.88》記録写真 1964年 [写真提供:佐々木耕成]
- 8 ジャックの会「This Is Jack」1966年 個人蔵



<交通案内>

- ※「熊本地震」の影響により、通行規制が行なわれています。変動の可能性がありますので、詳しくは当館までご確認ください。
- バス / 交通センターで下車、城彩苑内を通過し、歩いて15分、または交通センターで乗り換え、熊本城周遊バス[通称しるめぐりん]で「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分 [熊本城周遊バスは、JR熊本駅前起点、時計回りの運行です]
- 市電 / 「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR / 熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分 上熊本駅からタクシーで10分
- 空港 / 空港バスで交通センターへ、交通センターから歩いて15分、または熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場 / 二の丸駐車場[有料]、三の丸第2駐車場[有料]
- ※城彩苑と二の丸駐車場の間を無料シャトルバスが運行しています(15~20分おき)